

関西春ロボゼミ2022 講評

2022年4月9日

関西春ロボコン運営委員会
ロボティクス勉強会運営会

最優秀発表賞:三重大学 M³RC

(受賞チームには、賞状ならびに副賞の図書カード2,000円分が贈呈されます。)

関西春ロボゼミ2022は、春ロボコン2022(関西大会)に参加したチームの発表会です。技術交流の新たな試みとして、2022年4月2日に開催されました。本企画は、技術継承の促進、成果物以外への注目、多様なフィードバックの提供を3つの柱として掲げ、春ロボコン(関西大会)に参加した4チームに、プレゼンテーション形式で15分程度の発表を行っていただきました。本企画は一般公開し、参加チームや大会運営関係者のみならず、他大学所属の学生や社会人などから幅広く聴講者を募集しました。

最優秀発表賞の選考は、関西春ロボコン運営委員会とロボティクス勉強会運営会の協力の下で、各チームに事前に通知した以下の項目に基づいて実施しました。

- 資料の読みやすさ
 - 動画や写真、図を活用して、視聴者が理解しやすい説明になっているか
 - フォントや文字色等を活用して、可読性の高いデザインとなっているか
 - 章やスライドのタイトルの設定が適切か
- 発表の構成
 - 発表内容に関する順序立てや、説明における論理が整えられているか
 - 工夫した点など、チームの伝えたい部分が、発表において明確であるか

今回最優秀発表賞に選ばれた三重大学M³RCは、審査項目を充足するだけでなく、発表全体を通じて、簡潔な資料と口頭での補足という完成度の高いプレゼンテーションを披露しました。細部においても、技術的課題とその解決方法を適切に整理していたり、先に動画で動作を見せた後に写真で機構を詳細に説明したりと、聞き手に寄り添った優れた発表でした。

4チームの発表はいずれも、限られた準備時間の中で非常によくまとめられており、資料や発表においても多くの工夫がなされていました。特に3D-CADのスクリーンショットの活用では、スクリーンショットをスライドの背景/デザインに組み込んだり、多角的な視点からのスクリーンショットを並べて提示したりと、情報量を損なわせないための様々な取り組みが見られました。一方で、資料内に長文が埋め込まれていたり、情報が整理しきれていない箇条書きがあったりと、改善の余地も散見されました。内容については、スケジュール管理を中心にマネジメント面について全てのチームが発表を行っており、注目度の高さが窺えました。

本企画の録画データは各チームに配布されます。他チームの発表だけでなく、自分たちの発表も含めて再度ご覧いただくことで、今後の皆様の技術交流のスキルアップに繋がっていただければ幸いです。

文責:大西祐輝(ロボティクス勉強会運営会)